

新城市地域公共交通会議

H19. 12. 26設置 (H20. 3. 19改組：法定協議会)
NW計画策定(フィーダー系統) 27年度 H26. 6. 12策定

①協議会が目指す方向性(Plan)

新城市の将来像

市民が^{ひと}つながり ^{みなと}山の^み湊 創造都市

第1次新城市総合計画 (山の湊しんしろ 経営戦略プラン)
(策定：平成20年4月 計画期間：20年度～30年度)

公共交通に関する重点施策

公共交通網の整備と利用向上
主な事業：公共バスの運行、飯田線の活性化
目標：公共交通機関等の充実の満足度の向上

新城市地域公共交通総合連携計画

～山の湊 創造都市を支える公共交通づくりに向けて～
(策定：平成20年2月 期間：20年度～29年度)

基本方針

民間路線バスの撤退や、合併による市域広域化への対応など、これまでの路線維持にとどまることなく、市民にとって満足度の高い新たな公共交通システムの構築を目指す。

★新公共交通システム推進の6つのポイント

運行形態・路線網の検討
地域の实情に合わせた運行形態の採用と乗り継ぎの円滑化

バス関連施設の整備
バス停、乗継拠点、運行案内板など、バス関連施設の計画的整備

ニーズの把握と反映
乗降調査やアンケートによる利用者ニーズの把握と、運行への反映

地域・利用者の参画
地域住民・利用者が、計画策定や見直しに参画できる仕組みづくり

利用しやすい料金体系
市営バス料金の統一と、民間バス路線の料金体系の構築

積極的な情報提供
鉄道及びバス路線に関するパンフレットの作成など、積極的な情報提供

新城市バス路線図



作手線実証運行(増便)

修正版



協議資料1
(中部様式)

②地域公共交通に関する具体的取り組み及びそのプロセス(Do)

■連携計画に基づく取り組み

※27年度 (H26. 10. 1-H27. 9. 30) の取組部分を朱書きで記載してあります。

○運行形態・路線網の検討

路線名		これまでの取り組み
鉄道	JR飯田線	
	新豊線	H22. 10一部ルート変更 H27. 4下校時の安全性向上のためバス停を移設 (川田平バス停:地区要望)
	田口新城線	H27. 6路線見直しのためのアンケート調査実施 (中学生・高校生・地区高齢者・利用者) H27. 8調査結果に基づく迂回ルート変更(案)作成 H27. 8実現に向け事業者と協議を開始 H27. 9事業者・設楽町と協議(現行ルート継続を決定)
	作手線	H20. 4増便 H22. 10増便・ルート変更(実証運行)
地域間幹線	吉川市川線	H22. 4運行回数変更(冬期)
	中宇利線	H22. 4一部ルート変更 H23. 5一部ルート変更
	北部線	H20. 4一部ルート変更 H22. 4一部ルート変更 H26. 9一部ルート延長、バス停新設(東新町駅:復路)
	西部線 (地域内フィーダー)	H20.6新設(実証運行) H21.4ルート変更・減便(フリー乗降区間設定) H22.4ダイヤ変更 H27.6バス停の新設(川田山田平:地区要望)
	本長篠海老線	H27.6路線見直しのためのアンケート調査実施 (中学生・高校生・地区高齢者・利用者) H27.8連谷小学校までの路線延長(案)作成 H27.9路線延長に係る関係機関協議(道路管理者・警察) (10月以降、地元区長及び地区説明会を実施) ※28年4月見直し予定
バス	布里田峯線	H20.10路線延長(西保育園～玖老勢) H25.4バス停新設(ヤナ場、田峯) H27.4路線延長(鳳来中学校まで:直通便の新設) H27.6路線見直しのためのアンケート調査実施 (これ以降、本長篠海老線と同時進行)
	塩瀬線 (地域内フィーダー)	H20.10新設(鳳来寺線の代替:実証運行) H27.4路線延長(玖老勢まで:豊鉄バスへの乗継も考慮) H27.6路線見直しのためのアンケート調査実施 (これ以降、本長篠海老線と同時進行)
	鳳来地区	

路線名		これまでの取り組み
鳳来地区	鳳来寺線	H20. 10廃止(塩瀬線で代替)
	秋葉七滝線	H25. 4バス停新設(守り育てる会からの提案) H26. 10小・中学校の登校時間に配慮した、ダイヤ変更及び1便増便
	長篠山吉田線	
作手地区	守義線	H20. 4一部廃止(高里～くらがり・増便)
	大和田線	H20. 4廃止(スクールバスへ移行)
	診療所バス	H20. 4廃止
	つくであしがる線 (地域内フィーダー)	H20. 4新設(実証運行:曜日別運行) H21. 4一部ルート変更(木曜ルート)

○利用しやすい料金体系

・Sバスの運賃を見直し、負担の少ない運賃設定を実施

H20. 4～ 共通回数券(200円、100円)の創設

布里田峯線、秋葉七滝線、長篠山吉田線の運賃変更(210円→200円)

H22.4～ 中宇利線、吉川市川線の運賃変更(対キロ→200円)

H22.10～作手線の運賃変更(対キロ→ゾーン制(200円↔400円))

Sバスと新豊線の運賃の調整(新城富永～市民病院160円、新城富永～千郷小学校190円)

回数券の設定(160円と190円)

H25.4～ 布里田峯線・塩瀬線における乗継券の創設

H25.12 田口新城線の運賃見直しに関する調整会議(設楽町・豊鉄バス(株)・新城市)

○バス関連施設の整備

・作手地区 高里バス停の整備

乗継拠点として、高里バス待合所を建設(H14. 9)

・鳳来地区 本長篠駅前バスターミナル

設楽町・新城市の観光マップをバス待合所に掲示(H24)

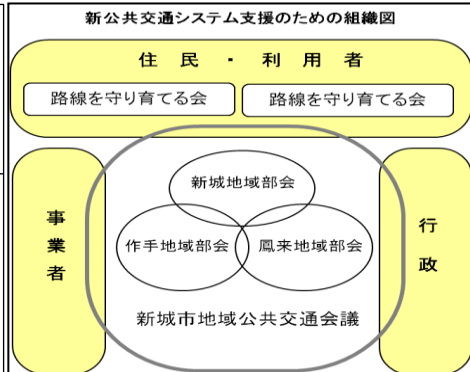
②地域公共交通に関する具体的取り組み及びそのプロセス(Do)

○地域・利用者の参画

- 「路線を守り育てる会」の設置
- ・布里田峯線 H20. 4.21設置
 - ・つくであしがる線 H20. 9.17設置
 - ・西部線 H20. 9.25設置
 - ・秋葉七滝線 H24.12.13設置

- 主な取り組み
- ・地域内のバスルートやダイヤの検討
 - ・利用状況の確認
 - ・使用促進策の検討
 - ・イベント等の実施
 - ・アンケートの実施 など

- 地域部会の設置
- ・新城地域部会 H21.7.9設置
 - ・作手地域部会 H21.8.7設置

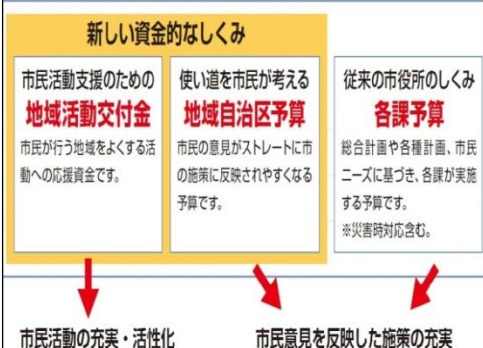


- 主な取り組み
- ・守り育てる会への情報提供
 - ・ルートやダイヤの検討に係る調整
 - ・意見・要望の集約、利用促進に係る意見交換

地域自治区制度との連携
平成25年度からスタートした「地域自治区制度」で設置された「自治振興事務所(市内を10の自治区に分け担当職員を配置、地域のサポート役となる組織)」に寄せられる「地域・利用者の声」を今後の公共交通に生かすため、同事務所担当職員と連携しながら路線見直し等を実施している。

また、地域ごとに異なる課題・相談内容を地域自身の問題として考えてもらうように働きかけつつ、地域自身が積極的に考え活動できるよう「地域活動交付金」などのサポート制度についても触れながら、地域の実情に応じた行動に繋がるよう努めている。

※H26.10～の秋葉七滝線ダイヤ変更・増便は、地域住民で組織された団体が地域活動交付金を活用して報告書をまとめ、それを基に見直しを進めた。



○ニーズの把握と反映

- ・利用者満足度調査(毎年度実施)
- ・H24.3 生活交通ネットワーク計画策定調査(新城市・北設楽郡で連携して調査実施)
- ・鳳来北西部地区路線見直しのためのアンケート調査
(布里田峯線・塩瀬線・本長篠海老線・田口新城線沿線の中学生・高校生・高齢者・利用者)

○積極的な情報提供

- ・ラッピングバスの運行
(守義線、つくであしがる線、北部線、西部線、もみじまつりPR(新豊線)で実施)
- ・バスマップ、パンフレットの作成
H23 市内全域のバスマップ作成(全戸配布:新城地区はバスパンフレットも配布)
H27.4 バスマップ全面改訂(全戸配布:合わせて主要施設へも設置)
H27 免許証返納者及び新城市への転入者に対し、バスマップ配布開始
- ・利用促進イベント等の開催
H22 新城市・北設楽広域連携イベント「飲んだら乗るな、乗るならバスだ」の開催
H24～夏休み小学生50円バスの実施(東三河8町村で共同実施)
全小学生へのPRチラシ配布に加え商工会や老人クラブへもPR
H27 ケーブルテレビの市政情報番組で、バスに乗車して観光地などを巡る特集番組を制作し放映。(4月:作手線、7月:北部線)
H27.7 商工会主催の軽トラ市においてバス乗車体験を開催、バスマップや50円バスイベントについてもPRを実施(約100人来場)

■この1年間の取り組み(再掲)

- 西部線のバス停新設
- 布里田峯線の路線延長(中学校までの直通便の新設)
- 塩瀬線の路線延長(玖老勢バス停での豊鉄バスとの乗り継ぎ考慮)
- 本長篠海老線の連谷小学校までの路線延長検討(H28.4実施予定)
- 秋葉七滝線のダイヤ変更・増便
- バスマップの全面改訂(全戸配布及び主要施設への配布)
- バス乗車イベントの開催(約100人来場)
- 夏休み子ども50円バスの実施(東三河地区自治体と共同実施)
- ケーブルテレビの市政情報番組でバスに関する特集番組を制作・放映

③地域公共交通に関する具体的取り組みに対する評価(Check)

■目標値とその達成状況

※地域内フィーダー路線は赤色で囲んだ部分

※満足度数は1.0を基準値(普通)とし、0.8~1.2の範囲内で数値が高いほど満足度が高いことを示す。

路線名	利用者数(カッコ内は総数)			収支率(%)			利用者の満足度数			自己評価	参考(26年度(H25.10.1-26.9.30)との対比)							
	目標値(NW計画)	27年度	達成度	目標値(NW計画)	27年度	達成度	目標値(NW計画)	27年度	達成度(基準値との差)		利用者数(カッコ内は総数)		収支率		満足度			
	26年度	増減	26年度	増減	26年度	増減												
地域間幹線	新豊線	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	田口新城線	—	—	—	—	—	0.99	1.05	+0.05	—	—	—	—	—	1.03	0.02	—	
	作手線	43,777	43,326	99%	28.86%	28.02%	97%	1.01	1.00	0.00	B	39,745	109%	3,581	25.23%	111%	1.00	0.00
新城地区	中宇利線	15,555 (54,633)	15,597 (54,297)	100% (99%)	32.39%	36.79%	114%	1.14	1.11	+0.11	A	15,116 (51,476)	103% (105%)	481 (2,821)	31.76%	116%	1.07	0.04
	吉川市川線	3,242 (11,144)	3,417 (10,617)	105% (95%)	11.90%	12.37%	104%	1.18	1.15	+0.15	A	3,037 (10,237)	113% (104%)	380 (380)	11.30%	109%	1.05	0.10
	北部線	5,642 (10,231)	4,079 (8,082)	72% (79%)	15.94%	11.17%	70%	1.08	1.08	+0.08	B	4,934 (9,512)	83% (85%)	▲855 (▲1,430)	15.48%	72%	1.13	▲0.05
	西部線 (地域内フィーダー路線)	4,515	3,480	77%	8.95%	7.27%	81%	1.11	1.04	+0.04	B	3,844	91%	▲364	8.11%	90%	1.11	▲0.07
鳳来地区	本長篠海老線	—	6,319	—	—	—	0.99	1.03	+0.03	—	7,190	88%	▲871	—	—	1.05	▲0.02	
	布里田峯線	300 (4,926)	391 (3,575)	130% (73%)	10.14%	10.19%	100%	1.04	1.09	+0.09	A	222 (3,830)	176% (93%)	169 (▲255)	8.81%	116%	1.03	0.06
	塩瀬線 (地域内フィーダー路線)	1,622 (5,919)	1,607 (6,298)	99% (106%)	10.50%	8.61%	82%	1.15	1.14	+0.14	B	1,506 (5,722)	107% (110%)	101 (576)	9.87%	87%	1.04	0.10
	秋葉七滝線	4,372 (14,510)	2,550 (8,646)	58% (60%)	19.40%	10.80%	56%	1.14	1.17	+0.17	B	3,324 (10,944)	77% (79%)	▲774 (▲2,298)	15.33%	70%	1.05	0.12
	長篠山吉田線	3,384 (18,486)	2,054 (16,290)	61% (88%)	37.00%	30.25%	82%	1.07	1.06	+0.06	B	2,451 (16,159)	84% (101%)	▲397 (131)	31.21%	97%	1.08	▲0.02
作手地区	守義線	2,765 (4,619)	2,236 (4,252)	81% (92%)	10.84%	8.59%	79%	1.19	1.12	+0.12	B	1,929 (3,457)	116% (123%)	307 (795)	5.72%	150%	1.15	▲0.03
	つくであしがる線 (地域内フィーダー路線)	1,609	976	61%	5.05%	2.40%	48%	1.16	1.19	+0.19	B	1,181	83%	▲205	3.03%	79%	1.20	▲0.01
合計		86,032 (166,158)									合計	84,479 (163,297)	102% (102%)	1,553 (2,861)				

※利用実績(人)は、子供利用分を除いた人数で算出

※目標値は25年度実績(H24.10.1-25.9.30)を基に、利用者及び収支率は1.05倍、満足度は+0.01を目標値として設定

評価基準 (A・利用実績及び収支率の達成度が100%以上で満足度数が1.0以上の場合(ただし満足度数が1.0より小さい場合はB)

(B・利用実績又は収支率の達成度のいずれかが100%を超えた場合(満足度数が1.0より小さい場合でもB)

(B・利用実績及び収支率の達成度が100%を下回ったが、満足度数が1.0以上の場合)

(C・利用実績及び収支率のいずれも100%を下回り、満足度数も1.0より小さい場合)

■全体評価

高齢者や小中学生の通学を目的として利用され、概ねその役割は果たしたが、秋葉七滝線は26年度と比較して23%減人数にして774人の減少となるなど、一般利用者が減少した路線が見られた。路線ごとの減少要因を把握し次に繋げるために、職員が実施する満足度調査時に利用者からのヒアリングや運転手への聞き取り調査を実施した。主な理由は次のとおり。

- 【増加要因】 布里田峯線 26年度に路線延長した朝の便に、ほぼ毎日終点まで利用していただけるようになった障がいをお持ちの方の利用による増
 吉川市川線・守義線 高齢者の方の通院・買物回数等の増
 作手線 定期券利用者の増(27年度 定期: 30,926/定期外12,400 26年度定期: 28,128/定期外11,617 対26年度定期: +2,798/定期外+783)
- 【減少要因】 秋葉七滝線・長篠山吉田線 通院等で利用していた複数の高齢者が、施設入所したりお亡くなりになったことによる減
 北部線 定期券をご購入いただいていた高齢者が利用しなくなったことによる減
 つくであしがる線 道路の通行止めなどにより、一時的に利用できない地域が発生したことによる減

④自己評価から得られた課題とその対応(Action)

■利用者実績・利用者の満足度数から得られた課題

平成27年度の利用者数は、小中学生利用を除いた利用者数・利用者総数、ともに26年度と比較して増加し、利用者満足度調査でも基準(普通)となる「1.0」よりも高い評価(数値)を得ることができた。しかし、小・中学生が日々通学に利用する長篠山吉田線、高校生の利用が大半を占める作手線で、運行回数や運行ダイヤに対する「やや不満」「不満」という声が多く見られた。

●対応→利用者満足度調査から得られた結果を踏まえるとともに、「**地域自治区制度**」における**自治振興事務所(前ページ参照)**とも連携を図ることで、少しでも利用者の声に沿ったダイヤの見直しなどを継続的に実施していく。

■地域・利用者の参画に関する課題

路線ごとの課題などを協議・検討する「守り育てる会」を4路線で設置しているが、一部は稼働していないため十分に組織を生かし切れていない。

●対応→課題解決に有効な「守り育てる会」が機能するように、**自己評価結果等の情報提供を行い路線の現状を知っていただくとともに**、活動に対する積極的な働きかけを行い、自治振興事務所とも連携を深めながら、地域ごとの課題解決に向けた取り組みを進める。

■必要とする人が利用しやすい地域公共交通の維持に向けた課題

人口減少が続く本市では、大幅な利用者数の増加を見込むことは容易ではないが、広大な地域に点在する高齢者の通院・買物や、中学生の通学の手段として公共交通は不可欠なものである。一方で利用者数が伸び悩む路線や、人件費等の高騰による運行経費の増加により、路線維持に係る負担が多くなっている。

●対応→今後も前述の取り組みを継続するとともに、限られた資源を有効に活用し、持続可能な公共交通網の形成を図るため、28年度中に「**地域公共交通網形成計画**」を策定し、**必要とする人が利用しやすい**地域公共交通の実現を図っていく。

⑤アピールポイント(特に工夫した点)

26年度の自己評価において、鳳来北西部地区路線の大幅な見直し(田口新城線・本長篠海老線・布里田峯線・塩瀬線)を掲げ、27年度の見直し実施に向け、利用者の属性や移動目的を詳細に把握するため詳細なアンケート調査等を実施した。結果、地域間幹線の田口新城線以外の3路線について、地域の実情に沿った改善を実現することができた。

今後も、今回の見直しのように、路線単体だけの検討にとどまるのではなく、少し視点を広げて地域全体を見渡しながらか改善を進めるとともに、地域のサポート役として機能している自治振興事務所と連携を図りながら利用しやすい地域公共交通としていきたい。